

INCHEM TOKYO 2019
水イノベーション特別セミナー

「SDGsをビジネスチャンスに ～水分野の可能性」

2019年11月20日(水) 11:40～12:30

特定非営利活動法人 日本水フォーラム



本日の次第

11:40～ はじめに

上村 奈津子(日本水フォーラム)

11:45～ 発表(1)

佐橋 縁(独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部
企業連携第一課)
「中小企業・SDGsビジネス支援事業」

12:00～ 発表(2)

前田千夏(株式会社日水コン 経営企画本部経営企画部
担当課長)
「SDGsの達成に向けた民間企業の役割」

12:15～ 質疑応答

12:25～ まとめ

目次

- (1) 本日のセミナーのねらい
- (2) 日本水フォーラムの活動
- (3) SDGsとビジネス

(1) 本日のセミナーのねらい

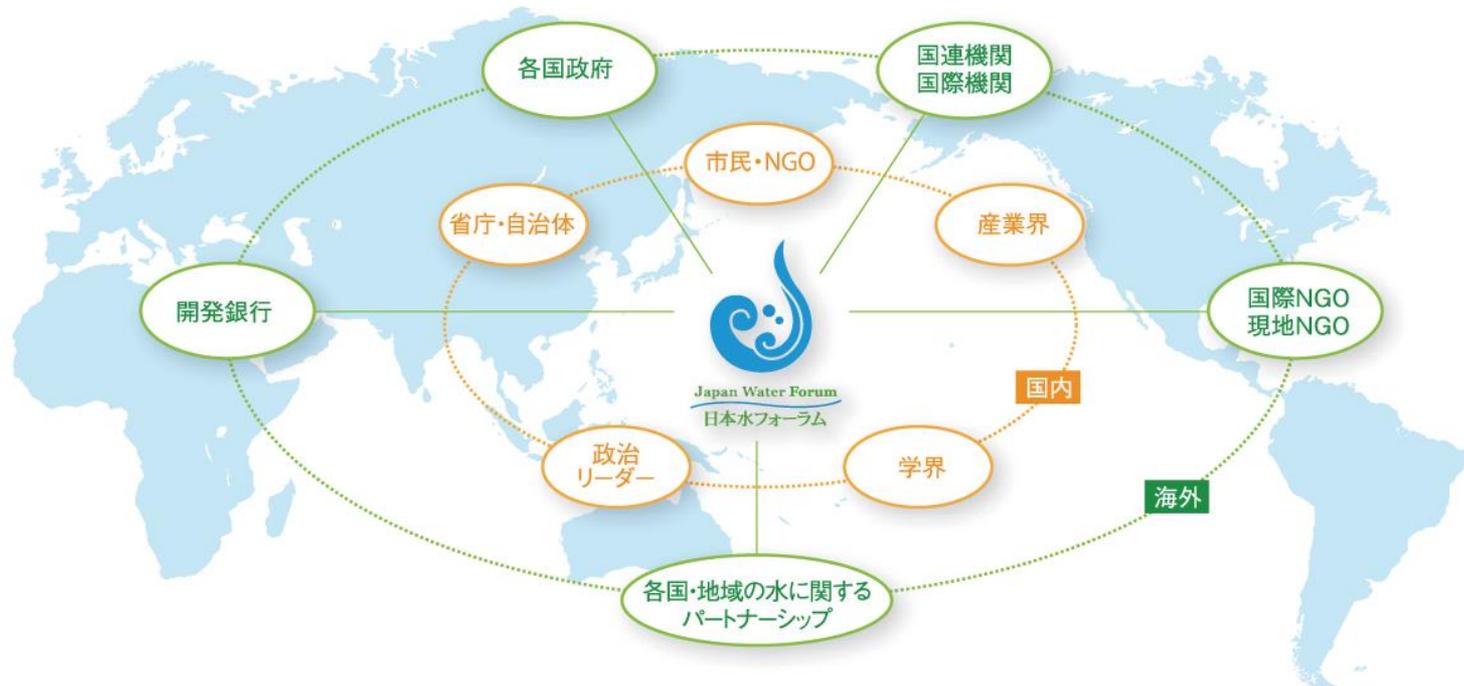
聴講される企業の皆さまにとって
このセミナーがSDGsと
水分野のビジネスチャンスとを
結びつけるヒントとなること



(2) 日本水フォーラムの活動

■ 組織概要

第3回世界水フォーラム（2003年、日本政府主催）
を契機に、**2004年に設立されたNPO法人**



(2) 日本水フォーラムの活動

■ ビジョン

すべての人が水に起因する苦しみから解放され、**水の恩恵と価値を最大限に享受できる世界の実現**を目指す。

■ ミッション

大胆な発想と行動力によって、すべての人が水を通して生まれる喜びと苦しみを理解し、**地球上の水問題解決のために行動を起こす機会を創出する。**



Bangladeshでの井戸掘り(JWF)

(2) 日本水フォーラムの活動

■ 組織構成:

【評議会】

会長 森 喜朗 元内閣総理大臣
副会長 中西 宏明 (一社)日本経済団体連合会会長
神津 里季生 日本労働組合連合会会長
丹保 憲仁 北海道大学名誉教授
有田 芳子 主婦連合会会長
今井 義典 元日本放送協会副会長

評議員 25名

【理事会】

代表理事 竹村 公太郎、副代表理事 菅 和利、水谷 重夫
理事・監事 15名

【会員数】

団体会員:82団体・企業、個人会員:87名(2019年10月30日現在)

【事務局】 15名

(2) 日本水フォーラムの活動

■ 活動概要

- 政策提言
- 草の根活動の支援
- 日本の叡智の世界への発信
- 人材育成・啓発

の4つの柱で活動

政策提言 ◯



草の根活動の支援 ◯



日本の叡智の世界への発信 ◯



人材育成・啓発 ◯



(3) SDGsとビジネス

■ SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



- 2015年9月採択、**2030年**まで
- 国連加盟193カ国
- 経済成長、社会的包摂、環境保護の調和
- **17目標**、169ターゲット、232指標
- 5つのP: People(人間)、Planet(地球)、Prosperity(繁栄)、Peace(平和)、Partnership(パートナーシップ)

(3) SDGsとビジネス

■SDGsの現状

2019年、国連事務総長の特別報告書

“前進しているが、
どのゴールも
達成のためには
速度と規模を
向上させる必要がある。”



写真出典：国際連合ホームページ
<https://www.unmultimedia.org/photo/>

(経済社会理事会の下でのHLPFにおいて発行、
Special Edition: Progress towards the Sustainable Development Goals:
E/2019/68)

(3) SDGsとビジネス

■SDGsの現状

- 各国政府による、SDGsの取り組みの自発的な報告が活発化
- SDGs の政策への取り込みが主流化しているが、**予算付けが課題となっている**
- 政府の複数省庁、及び中央から地方までが連携することが課題
- 社会全体で取り組むためには市民啓発が必須
- **民間セクターは、イノベーションと技術開発の促進、SDGsを前進させるための新しい解決策の発見等、SDGsを促進する長期的なパートナーであるべき**
- **より多くの企業が、SDGsに合わせて事業を調整することによる企業、社会全体、及び地球にもたらす利益を確信する必要がある**

(3) SDGsとビジネス

■ SDGs実施に関する日本政府の取組

日本政府「**持続可能な開発目標(SDGs)推進本部**」設置(2016年5月20日閣議決定)

【構成員】

本部長:内閣総理大臣、副本部長:内閣官房長官、外務大臣

本部員:他の全ての国務大臣

【8つの優先課題】

- 1 あらゆる人々の活躍の推進
- 2 健康・長寿の達成
- 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- 5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- 7 平和と安全・安心社会の実現
- 8 SDGs実施推進の体制と手段



写真出典: 首相官邸ホームページ
https://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201605/20sdgs.html

(3) SDGsとビジネス

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針

(2016年12月22日SDGs推進本部決定)

- わが国は、SDGs実施の段階においても世界のロールモデルとなることを目指す
- 国内実施、国際協力の両面において、世界を誰一人取り残されることのない持続可能なものに変革するための取組を進めていくことを目指す
- 省庁間や国と自治体の壁を越え、公共セクターと民間セクターの垣根も越えた形で、広範なステークホルダーとの連携を進めていくことが必要である

(3) SDGsとビジネス

SDGsの達成は
民間セクターの
活躍なしには
成しえない

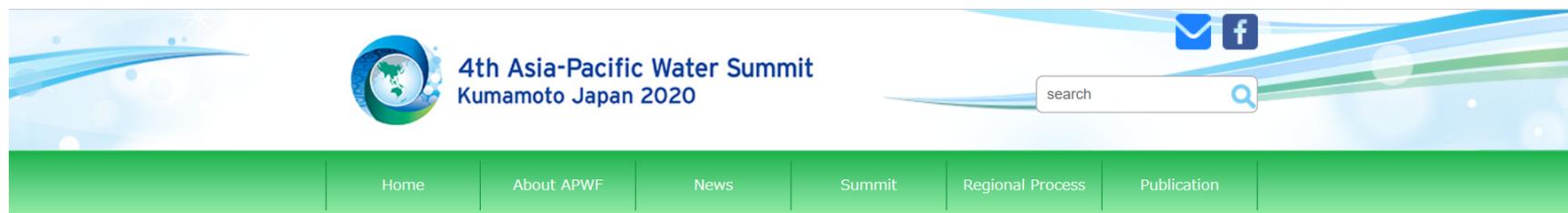


第4回アジア・太平洋水サミット



公式ウェブサイト

<http://apwf.org/kumamoto-2020-jp/>



[Home](#) > Kumamoto 2020

Kumamoto 2020

第4回アジア・太平洋水サミット（熊本市において開催）

2020年10月に、アジア太平洋地域の首脳級や国際機関の代表などが集い、水に関する諸問題について議論する、第4回アジア・太平洋水サミット（4th APWS）が、熊本市で開催されます。

開催地である熊本市の、長年にわたる地下水保全の取組や熊本地震からの復興を世界に発信します。

また、2017年にミャンマーのヤンゴンにて開催された3rd APWSでは、「ヤンゴン宣言」が採択され、水の観点から持続可能な発展のための道筋が示されました。

4th APWSでは、「持続可能な発展のための水～実践と継承～」をテーマに、「ヤンゴン宣言」で決意表明された内容の実践を議論し、その成果はSDGsの達成に大きく寄与することが期待されます。

概要

期日	2020年10月19日（月）・20日（火）
----	-----------------------

Sub menu

[Kumamoto 2020](#)